

# 大使館情報

2019年12月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（11月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（11月の出来事）

#### 【内政】

- (1) 第二審有罪判決後の収監に関する最高裁判所の決定
- (2) ルーラ元大統領の釈放
- (3) ルーラ元大統領の刑期延長判決
- (4) 雇用促進法案の発表
- (5) ボルソナーロのPSL離党及び新党APBの結党

#### 【外交】

- (1) 対キューバ制裁解に関する国連総会決議
- (2) 第11回BRICS首脳会合
- (3) BRICS各国との二国間首脳会談

### 3. トピックス

- (1) 山田大使と三都主アレサンドロ・元サッカー日本代表選手との意見交換会
- (2) 「ブラジルにおける日本の国際協力60周年記念イベント」の開催（在サンパウロ総領事館）
- (3) 日伯オープンイノベーション交流会の開催（在サンパウロ総領事館）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### 1. 経済情勢等 (11月発表の経済指標)

(1) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、11月22日付公表資料によると、GDP成長率予測については、2019年は0.99%で先週から0.07%上昇、2020年は2.20%で先週から0.03%上昇。インフレ率予測については、2019年は3.46%で先週から0.13%上昇、2020年は3.60%で先週から変わらず。

(2) 9月の鉱工業生産指数(季節調整済み)は、前月比0.3%、前年同月比1.1%となった(12ヶ月累積は▲1.4%)。アパレルや自動車が指数上昇を牽引、消費財が回復傾向となっている。

(3) 9月の小売売上高は、前月比+0.7%、前年同月比+2.1%を記録した(12ヶ月累積は1.5%)。家具・家電が上昇したことで成長ペースが加速した。

(4) 全国の失業率(8~10月の移動平均)は11.6%となり、7~9月の移動平均値(11.8%)から0.2%低下、前年同期比では0.3%低下した。

(5) 10月の貿易収支は、輸出額は195.76億ドル(前年同月比▲10.56%、前月比▲3.52%)、輸入額は170.29億ドル(前年同月比+5.73%、前月比+3.23%)で、差引き25.47億ドル(前年同月比▲56.02%、前月比▲32.85%)となった。1月から11月の累積値は▲410億ドルとなった。

(6) 10月の拡大消費者物価指数(IPCA)は単月で+0.10%となり、前月の▲0.04%から0.15%下落した。12ヶ月の累計では2.54%となり9月発表の2.89%から低下した。

### 2. 経済政策等

(1) 5日、ボルソナーロ大統領はエレクトロプラス社の民営化法案に署名、同法案は議会に提出され、政府の資本参加は運営管理権を失う40%となった。アルブケルケ鉱山エネルギー大臣は、民営化は議会の運営次第だが2020年後半に行われることを期待すると述べた。

(2) 6~7日、ブラジル沿岸の深海部に存在する岩塩層下(プレソルト)大規模油田の開発権をめぐる入札が実施された。全鉱区のうち一部しか落札されず、伯政府は、両日の入札で最大1,423億レアルの収入を見込んでいたが、約750億レアルと半分にとどまった。

(3) 12日、上院議会は年金制度改革に係る修正憲法を公布した。政府は改革により10年間で8,000億レアルの財政支出削減効果があると見込んでいる。

(4) 14日、ブラジリアで第11回BRICS首脳会合が行われ、多国間貿易システムの重要性を強調し、新開発銀行(NDB)の加盟国拡大に言及する共同声明が採択された。

(5) ボルソナーロ大統領は、18日、ファーウェイ・ブラジル代表事務所CEOのウェイ・ヤオ氏と面談後、CEOからブラジルでの第5世代移動体通信システム(5G)の整備に参画したい意向を伝えられたと述べた。

(6) 政府は、金融取引税を含まない税制改革案を11月中旬に国会に提出するとの見方があったが、提出されなかった。税制改革案は4段階に分けられており、第1段階として社会統合基金(PIS)及び社会保障賦課金(Cofins)の税率を統合、第2段階では工業製品税(IPI)を見直すと言われている。

### **3. 中銀の金融政策等**

金融政策委員会が10月29日及び30日に開催され、政策金利（Selic）を0.50%引き下げ、年率5.00%とすることを決定し、政策金利は過去最低の水準となった。次回会合は、12月10日及び11日。

### **4. 為替市場**

- （1）11月の為替レートは、1ドル=3.96～4.27 レアル台で推移。
- （2）月の前半は、4.00 レアル台を挟んで始まったが、過去最大規模の油田入札が不調に終わったことや、ルーラ元大統領の釈放、米中貿易交渉に不安があることを要因にレアル安となった。
- （3）月の後半、ゲデス経済相が米ドルとレアルの均衡を保つ必要があるとの見解を示したことで、8月の為替介入時の水準である4.20 レアルを超えてレアル安が進行、史上最安値を更新して4.27 台となった。

### **5. 株式市場**

- （1）11月のブラジルの株式相場（Ibovespa）は、108,000 ポイントを挟んだ展開。
- （2）月の前半は、油田入札の不調に伴い下落する局面があったが、米国の中国に対する新たな関税発動の延期可能性の報道を受けて、貿易合意への期待が高まり、108,000 ポイント台後半まで上昇した。
- （3）月の後半は、レアルが史上最安値を更新したことで、株式市場の不安定さが増大したが、108,000 レアル台付近で推移して、終値では107,983 ポイントとなった。

## 2. ブラジル政治情勢

### 【内政】

#### (1) 第二審有罪判決後の収監に関する連邦裁判所の決定

7日、連邦最高裁判所（STF）は、第二審での有罪判決後の収監を禁じる決定を下した。

#### (2) ルーラ元大統領の釈放

8日、ルーラ元大統領は、第二審有罪判決後の収監に関する STF の決定を受け、連邦警察クリチバ支部における 580 日間の収監から釈放された。翌週、ジルセウ元大統領府文官長を含むラヴァ・ジャット捜査の被告 7 名が釈放された。

#### (3) ルーラ元大統領の刑期延長判決

27日、連邦第4地方裁判所（TRF4）は、サンパウロ州アチバイア市の別荘を巡る収賄事件に関し、ルーラ元大統領を有罪とし、第一審判決で決定された刑期（12年11か月）を17年1か月に延長した。

#### (4) 雇用促進法案の発表

11日、ボルソナーロ大統領は、2022年までに最大400万人の正規雇用創出を目指す雇用促進政策「グリーン・イエロー・プログラム」を含む時限立法の雇用促進法案を発表した。

#### (5) ボルソナーロ大統領の PSL 離党及び新党 APB の結成

19日、ボルソナーロ大統領は、自由社会党（PSL）から離籍し、21日、新党「ブラジルのための同盟（Aliança pelo Brasil: APB）」を結成した。

### 【外交】

#### (1) 対キューバ制裁解除に関する国連総会決議

7日、伯は、キューバ制裁解除に関する国連決議において、1992年以降初めて反対票を投じた。

#### (2) 第11回 BRICS 首脳会合

13～14日、ブラジルにおいて第11回 BRICS 首脳会合が開催された。各国首脳が採択した「ブラジル宣言」では、国連改革の必要性、多国間主義及び多国間貿易の重要性、新開発銀行（NDB）の加盟拡大及び自国通貨建て債券基金の設立等に言及。

#### (3) BRICS 各国との二国間首脳会談

13～14日、ボルソナーロ大統領は、第11回 BRICS 首脳会合に出席するためにブラジルを訪問した各国首脳との間で二国間会談を開催した。

(ア) 13日、ボルソナーロ大統領は、習近平国家主席と伯中首脳会談を行った。両国首脳は、司法、農業、エネルギー、運輸、保健、文化等の分野の協力に関する文書に署名した。

(イ) 13日、ボルソナーロ大統領は、モディ印首相と伯印首脳会談を行い、貿易協定の可能性に

つき確認した。

(ウ) 14日、ボルソナーロ大統領は、プーチン露大統領と伯露首脳会談を行った。伯露両国は、既存のパートナーシップの拡大に関心を示した。

(エ) 14日、ボルソナーロ大統領は、ラマポーザ南ア大統領と伯南ア首脳会談を行い、バイオ燃料及び再生エネルギーに関する協力に関心を示した。

### 3. トピックス

#### (1) 山田大使と三都主アレサンドロ・元サッカー日本代表選手との意見交換会

11月25日、山田大使は、三都主アレサンドロ・元サッカー日本代表選手を公邸に招待し、昼食を共にしながら、日ブラジル間のスポーツ協力について意見交換を行った。

三都主氏は、長年にわたりJリーガーおよび日本代表選手として日本で活躍し、ブラジルに帰国後、2016年に地元パラナ州マリンガ市の子供たちにサッカーや規律・礼儀を指導する「Instituto Alex Santos」を立ち上げた。同施設における教育理念やこれまでの活動の紹介があったほか、今後の協力の可能性について話し合われた。

在ブラジル日本国大使館は、スポーツを通じた青少年支援活動をはじめ、日ブラジルのスポーツ交流の更なる発展のために積極的にサポートしていく。



昼食の様子



山田大使と三都主氏，当館館員との集合写真

#### (3) 「ブラジルにおける日本の国際協力60周年記念イベント」の開催(在サンパウロ総領事館)

11月4日、JICA ブラジル事務所及び在サンパウロ日本国総領事館の共催により、ジャパン・ハウス サンパウロ (JHSP) にて「ブラジルにおける日本の国際協力60周年記念イベント」を開催した。北岡伸一 JICA 理事長、ルイ・ペレイラ ABC (伯外務省国際協力庁) 長官、ビートル・リッピ伯連邦下院議員、山田大使、野口総領事をはじめとして、政府関係者、日系社会・日本企業関係者、メディア等、計140名程度が参加した。

イベントでは、北岡理事長より、ブラジルにおける日本の国際協力の歴史について紹介されるとともに、ブラジルでの国際協力のカウンターパートとして、サンパウロ州軍警察、SABESP (サンパウロ州下水道公社)、SENAI (全国工業職業訓練機関) より、日本の国際協力の意義等について発表が行われた。



北岡理事長のスピーチ



山田大使の挨拶

**(4) 日伯オープンイノベーション交流会の開催（在サンパウロ総領事館）**

11月18日、JETRO サンパウロ事務所、ブラジル日本商工会議所、在サンパウロ日本国総領事館及び JHSP の共催により、JHSP にて日伯オープンイノベーション交流会を開催した。本イベントは、日本企業とブラジルのスタートアップ・エコシステム関係者がイノベーションに関して意見交換を行うことを目的として開催されたものであり、計 100 名以上が参加した。



野口総領事の挨拶



JETROサンパウロ事務所長の挨拶



イベントの様子①



イベントの様子②

## 4. 大使館からのお知らせ

### (1) 文化イベント

#### (ア) アニマゾンのタイカイ (ベレン)

日時：12月7日(土)～8日(日)

場所：パラ州立タンクレードネーベス文化センター (CENTUR)

内容：アニマゾン文化協会及び日本のロリータファッションの普及活動を行っているベレン・ロリータ協会の協力の下、当地最大級のアニメイベントである「アニマゾンのタイカイ」にて、ロリータファッション愛好家・スタイリストであり、ブラジル業界では知名度の高くジャパン・ロリータ協会の一員であるアナ・カロリーナのトークショーやロリータファッションコンテストを開催する他、ベレン領事事務所ブースでは、浴衣や折紙のワークショップを開催。

#### (イ) 日本カレンダー展 (ベレン)

日時：12月7日(土)～15日(日)

場所：パラ州立タンクレードネーベス文化センター (CENTUR)

内容：カレンダー協会より寄贈された日本のカレンダー80枚を展示。

#### (ウ) 第5回日本文化祭り (ポルトアレグレ)

日時：12月14日(土)

場所：ノーバ・ペトロポリス市アーケード街(Na Rua Coberta)

内容：日本武道(合気道、居合道、柔道、少林寺拳法、剣道、長刀、相撲等)及び日本の伝統文化(盆栽、折り紙、踊り、茶の湯、生け花、浮世絵、切り絵、竹細工等)。

#### (エ) 山田大使講演 (サンパウロ)

日時：12月14日(土)

場所：ジャパンハウス・サンパウロ

内容：「日本のマンガー過去、現在、未来」をテーマとする山田彰大使による講演を実施。

URL：在ブラジル日本国大使館

Facebook(<https://www.facebook.com/EmbaixadaDoJapao/posts/1207622626093197>)

### (2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### (3) ブラジル渡航情報

#### (ア) 危険情報

8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域(ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏)を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区(継続)

- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・ロライマ州北部（新規）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏（新規）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html)

#### **(イ) 安全対策基礎データ**

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

#### **(ウ) テロ・誘拐情勢**

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)